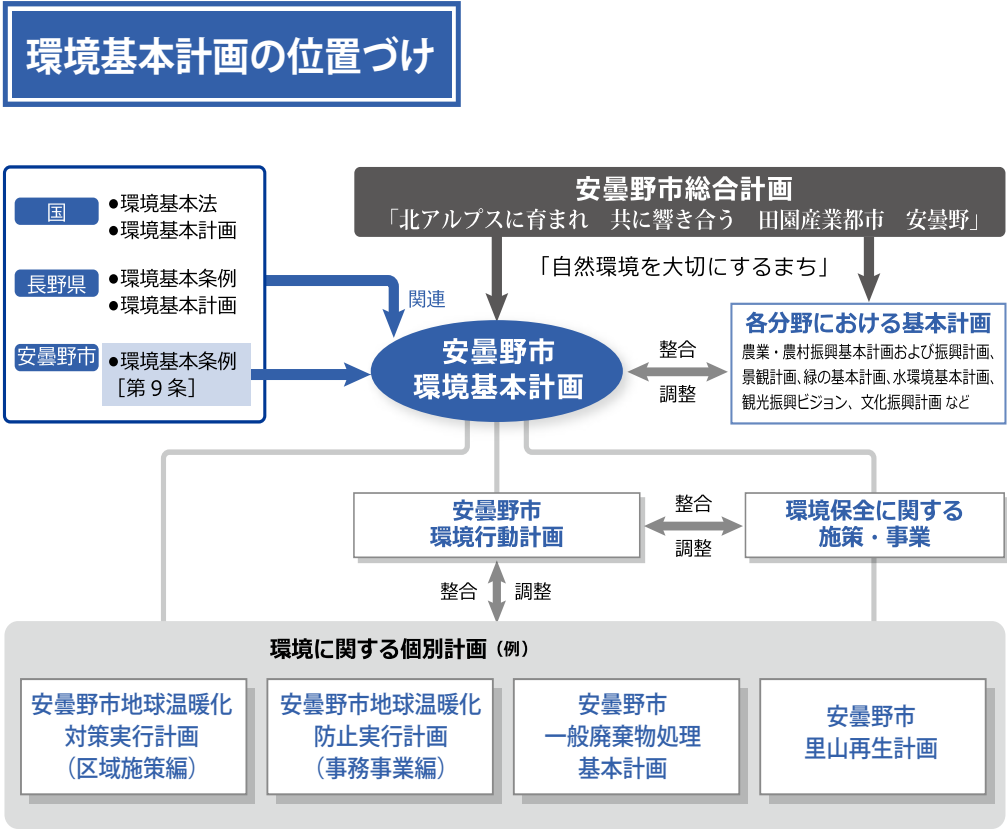


基本目標	個別目標	主要施策
① 共存・共生をはかるべきもの 豊かな自然と快適な生活空間	1 山岳地をまもる	1-1 登山ルールへの遵守 1-2 山岳地の環境保全・整備
	2 里山をまもる	2-1 森林整備計画に基づく森林の適正管理 2-2 里山再生計画の推進 2-3 森林整備の担い手確保や林業体験の促進 2-4 里山の利用促進
	3 里地をまもる	3-1 田園環境の保全 3-2 環境資源の保全と活用 3-3 食農教育と地産地消の推進 3-4 鳥獣被害の防止
	4 川や水辺をまもる	4-1 河川・水辺の保全と維持管理
	5 生きものをまもる	5-1 生きもの調査の実施と貴重な動植物の保護 5-2 生きものの生息・生育環境の確保 5-3 外来生物への対策 5-4 人と生きものとの共生
	6 身近な自然とふれあう	6-1 緑化の推進 6-2 公園の整備・維持管理
	7 景観や歴史・文化を大切に する	7-1 良好な景観の保全・形成 7-2 歴史・文化遺産の保全と活用
② 安全・安心な暮らしを支えるもの きれいな水と空気、安全な生活環境	8 豊富できれいな水の環境を まもる	8-1 水の状況把握と施策実現に向けた環境づくり 8-2 水質汚濁対策と河川美化 8-3 水量の確保のための仕組みづくり 8-4 地下水涵養の促進 8-5 水資源の有効利用
	9 きれいな空気と静かな環境を まもる	9-1 測定結果の公開 9-2 大気汚染・悪臭への対策 9-3 騒音・振動への対策 9-4 光害への対策 9-5 空家などへの対策
	10 公害・化学物質などの問題を なくす	10-1 公害発生への対応と情報提供 10-2 化学物質の適正使用 10-3 放射能への対策
③ 循環型・低炭素社会をつくるもの ごみ減量、省エネルギー・新エネルギー	11 ごみを少なくする	11-1 ごみのリデュースの推進 11-2 ごみのリユースの推進 11-3 ごみのリサイクルの推進 11-4 不法投棄・ポイ捨ての防止
	12 地球温暖化に対応する	12-1 省エネルギーの推進 12-2 新エネルギーの利用拡大 12-3 低炭素なまちづくりの推進 12-4 気候変動への適応策の推進
④ 参加と協働 自ら学び・考え・行動する市民	13 環境情報を充実させる	13-1 環境情報の充実
	14 環境について学ぶ・体験する	14-1 学校・教育・保育施設での環境学習 14-2 生涯学習としての環境学習 14-3 自然とのふれあい体験の推進 14-4 イベント・プログラムの実施
	15 環境保全活動を活発にする	15-1 地域主体の環境保全活動の促進 15-2 安曇野環境市民ネットワークとの協働

市の環境の動向

平成20年に安曇野市環境基本計画を策定してから10年が経ち、その間、東日本大震災の発生や、持続可能な社会の推進、地球温暖化対策に世界的に取り組むパリ協定の発効など、社会情勢は大きく変わりました。

平成28年度に市が2500人の市民を対象に行ったアンケート調査では、10年前と比較して、環境に対する満足度が向上したという回答が得られる一方で、湧水・地下水などの水環境の保全や外来生物・有害鳥獣への対応が行政に期待する施策として挙げられています。このような背景を踏まえ、豊かな環境を次代につなぐため、「第2次安曇野市環境基本計画」を策定しました。



自然環境を大切にすまち

第2次安曇野市環境基本計画を策定しました

計画の詳細は環境課（2階5窓口）、各図書館または市ホームページでご覧いただけます

環境基本計画って？

市の環境に関する最も基本的な計画として位置づけられ、市の最上位計画である第2次安曇野市総合計画を環境面から推進する役割を担っています。（上図参照）

計画の体系

市総合計画が掲げる基本目標のひとつ「自然環境を大切にすまち」実現のため、4つの基本目標に15の個別目標と47の主要施策を掲げ推進しています。（左上体系図参照）

具体的な取り組みは？

具体的な取り組みとしては、外来生物の分布状況の把握・悪影響の普及啓発、レッドリスト種やシンボル種など動植物の保護活動の推進や、管理不十分な空き家への指導、地球温暖化の取り組みの『見える化』の促進など、環境保全と創造に向けて取り組みます。

できることから始めよう

より良い安曇野の環境をつくるためには、市民・事業者・滞在者それぞれが積極的に環境活動に取り組むことが大切です。▽動植物の違法採取や採集をしない▽農薬・除草剤、化学肥料を減らす▽節水を心掛ける▽許可されていない野焼きは行わない▽きちんと資源物の分別をするなど、一人ひとりが環境を守るために身近でできることから始めてみましょう。

環境課環境政策係
TEL 71・2492 FAX 72・3176

